

淡路島ぐるりんロード

8月11日(土) ~ 8月15日(水)

IN 諭鶴羽山山頂休憩所~国立淡路青少年交流の家



	午前	午後	夜
1日目	淡路島渡船 自転車スタート	自転車走行	山頂到着 振り返り・休憩
2日目	自転車走行	休憩 レクリエーション	振り返り
3日目	海遊び	海遊び 野外炊飯	振り返り
4日目	焼き板工作	休憩 レクリエーション	キャンプファイア
5日目	施設を出発 自転車走行	淡路島を出発 解散	

一日目： 朝早くから明石に集合し、自転車を借りて淡路島に向かいました。天候は曇りでサイクリングには最適でした。ペースも良く、グループごとに差はありましたが、どのグループも満足そうに走っていました。夕方になるにつれますます差は拡がり、日没前にゴールしたグループもあれば、日没になっても走っているグループもありました。ただやる気は削げておらず、一生懸命にこぎ続けていました。その姿には本当に感動しました。全グループが到着したことに全員で喜び、一丸となって活動しているのが伺えました。



二日目： 山頂より日の出を見る予定でしたが、天気はあいにくの曇りだった為、残念ながら見ることは出来ませんでした。朝食を済ませ、山を降り、残りの道程を頑張って進みました。途中現地の方からスイカをもらうサプライズがありました。屋前には全グループが到着でき、とても満足そうでした。施設で昼食を済ませ、しっかりと休憩を取った後、浜辺で色々なレクリエーションを行いました。この結果が最終日に関わってくると伝えると、皆目の色が変わり、本気で行っておりました。夜はゆっくりと振り返りの時を過ごし、自分たちの頑張りや達成感、激励などを話し合いました。



三日目： 朝から海遊びに行きました。500m程離れた防波堤まで泳いだり、高台から飛び込みをしたりと有意義に過ごしていました。昼過ぎまで楽しんだ後、施設に戻り野外炊飯をしました。焼きそばを作ったのですが、皆今までのチームワークを発揮し、手早く美味しいものを作りました。間違いなく疲れているのに、最大限に楽しんでいる姿から底無しの強さを感じました。



四日目： 午前中は焼き板クラフトを行いました。お題は『思い出』ですが、それぞれ思うところが違い、楽しい場面や、苦しかった場面など様々でした。午後は最終日に向けて、しっかりと休憩を取り、夕方から二日目に行ったレクリエーション大会の続きを行いました。『しっぽとり』の時、目が本気で鬼気迫るものがありました。最終夜ということでキャンプファイアで大いに盛り上がり、そしてこれまでの頑張りや協力などをしっかりと振り返りました。



五日目： 朝食を食べ、お世話になった施設を清掃をし、残りの道のりへと出発しました。行き之苦しさを知っているだけに、帰りは難なく進んでいる姿が逞しかったです。遅れ気味の仲間に声をかけ、間に挟み引っ張っていく等自分達なりに工夫をし、どのグループもかなり良いペースでした。途中のコンビニで昼食やおやつを買って食べている時の笑顔は本当に嬉しそうでした。全グループ無事にゴールすることができ、フェリーで淡路島を後にしました。明石に帰ってくると緊張の糸が切れたのか、急に疲れ果てた表情でしたが、達成感は充分に感じる事が出来ました。



<キャンプ総括>

今年から一泊増え、内容もパワーアップしましたが、淡路島から受けとるパワーや感動は相変わらず格別のものであります。参加者にとったら、前代未聞の内容であり、感想を言うにもあまりにも大きすぎて一度では伝えられないと思います。それだけのことを一人一人体験し、達成し、感じたのでしよう。一人では決してできなかったという事も走りながら、痛感されていたと思います。ただ走るだけで、走りきったことに大いに自負され、これからの自信に繋げていってほしいです。本当に完走おめでとう！！

(竹中 哲郎)